

五中・夢バトン

豊中市立第五中学校
学校だより
平成 29 年 (2017 年)
6 月 2 日
発行責任者：石井武

成長と絆の深まりを感じた 3 日間 3 年 (64 期生) 「修学旅行」

5 月 25 日 (木) の朝、出発はあいにくの雨模様でした。体育館での集合、整列、点呼・・・かなり時間がかかってしまいました。まずは、クラスごと男女別にまっすぐ並ぶことができれば、点呼はできません。修学旅行で気持ちがハイテンションになることはわかりますが、このことで、バスの出発が約 15 分遅れたことは、しっかり反省し今後の学校生活の中で、改善に向け努力していきましょう！



「ようこそしなの里山民泊の会へ」
「歓迎 豊中市立第五中学校様」

長野県村山健康スポーツセンターにおいて、あたたかい横断幕と 41 民家の歓迎のもと、ファームステイ (農業体験) の入村式が行われました。聞く態度も大変良かったし、何よりもお世話になりますという気持ちが各農家の方々に伝わっていたと感じました。

3～4 人ずつそれぞれの班に分かれ車で各農家宅へ移動し活動がスタートしました。まき割りや野菜の収穫など畑や庭で都会では味わえない貴重な体験ができました。食や労働についてもさまざまな角度から学習できたと思います。1 泊だけではありますが、雄大な自然の中で充実した取り組みとなったのではないのでしょうか。

ご飯を食べる時、野菜やくだものをいただく時、ぜひこの体験を思い出し感謝の気持ちを大事にしてくださいね。



2日目のメインはラフティング、水着の上にウェットスーツ、ヘルメットを着用し6～8人ずつゴムボートに乗り込みパドルで水をこぎながら川の急流をくだっていきます。まずは、インストラクターから注意点や漕ぎ方などの説明を聞きます。ひとつ間違えば事故やケガにつながりかねないこともあり、楽しい話の中にもみんなの表情は真剣でした。

やるときはやる、聞くときは真剣に聞く、さすが64期生と感心しました。



ラフティングの後は、各クラスがそれぞれの民宿に分かれ、入浴、夕食後、クラスタイム、クラスミーティングなどを行いました。クラスのこと、友だちのこと、自分のこと、一人ひとりの思いや考えなどを語っていきました。仲間のことを考える五中生の優しさや思いやりがしっかりと伝わり合っていたと思います。これからの取り組みに活かしていくとともに仲間との絆をいっそう深めてほしいと願っています。

ただ、5月31日の3年生学年だよりも書かれていたように、さまざまな課題もうきぼりになっています。64期生の取り組みはこれからがスタートです。修学旅行の成果と課題を今後に活かし素晴らしい学年に成長してくれることを大いに期待しています。



前日の雨で少し流れも速く、冷たい水に歓声と興奮の中、各ボートは次々とスタート地点を出発、掛け声をあわせてしっかりとパドルを漕いでいきました。

みんなで協力すること、みんなの気持ちを合わせることで、そして共にゴールをめざすこと、楽しいプログラムの中にも多くの学びがつまっていましたね。一生の思い出にしてほしいと思います。



6月のおもな予定

- 2日(金) 3年第1回実力テスト
- 7日(水)～8日(木) 2年湖畔学舎(滋賀県高島市マキノ町)
- 9日(金) 1年校外学習(万博記念公園・国立民族学博物館)
- 15日(木) 生徒総会(6限)
- 21日(水) 3年生チャレンジテスト
- 28日(水)～30日(金) 1学期期末テスト

